



三徳開教110年

今月のご法話

「無私」の天皇をいただく幸せ

# 法音

10 平成29年 月号 No.576



日蓮宗  
法音寺

# 一人が一人を

## 是非一人は

是非一人は、仏となれる人に導きましよう。  
法華経には、一人を導く功德は広大である  
とあります。

その一人が、他の人を導く功德が又大きい  
のです。

ついに一人を導く人が仏となります。

一人を導く人が極楽に住む人となります。

一人一人が極楽に住む人、仏になるのです。

御開山上人御遺訓『おりにふれて』

## 月刊・法音

平成二十九年十月号「576」

■目次■

【信仰の指針】大慈悲だいじひ

1

【朝のこない夜はない】

「無私」の天皇をいただく幸せ

山首 鈴木正修

2

■お会式が厳修されます

■有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

■特別企画・聖の教え(二十二)

■とこのはの記 お数珠の話

■読者の声 大里訓子(静岡支院)

■のりのもと 西に東に 転法輪・支院だより

■福祉のひろば ニコニコ子育て 保育の現場から⑤

■福祉に生きる 児童養護施設 名古屋養育院・名古屋若松寮の実践

【特別寄稿】日本福祉大学社会福祉学部

スカラシップ制度入学生特別講演会

■賛助員ご芳名

■幸せの種まき／編集後記

■連載まんが・ひまわり・58 ぼんのう

■法音寺関連書籍のごあんない

■法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま

表紙写真・ダリア

掲載写真

表紙・信仰の指針・3～17頁…梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

信仰の指針

だい  
じ  
ひ

大慈悲心

仏さまの心を

わが心としませう

日教五



ソバの花



# 朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

# 「無私」の天皇をいただく幸せ

今回は昭和天皇のすばらしい御人格についてお話をさせていただきます。

昭和天皇が連合国最高司令官・マッカーサー元帥に初めて会われたのは、終戦間もない昭和20年9月27日でした。マッカーサーは厚木基地に降り立ち、焼け残った第一生命ビルをGHQ（連合国最高司令官総司令部）の本部にしています。その日、昭和天皇は通訳一人を伴ってシルクハットに燕尾服という正装でマッカーサーを訪ねられました。

マッカーサーは、「本土決戦」となっていたら、およそ100万のアメリカ兵が必要で、その半数は戦死していただろうということや、それが昭和天皇の御聖断により一挙に終戦となり、日本人も助かったけれどもアメリカ



カ兵も助かったということを知っていました。さらに、昭和天皇が初めから戦争に反対だったということも知っていたのです。

太平洋戦争は昭和16年12月8日、「真珠湾攻撃」により始まりました。9月6日の御前会議で昭和天皇は「外交による解決を優先せよ」と言われました。そして、明治天皇の御製を二度朗誦されました。

「四方の海 みな同朋と 思う世に

など波風の 立ちさわぐらん」

これは「開戦を望まない」という思召しを暗黙のうちに御示しになったものです。

日本はイギリスと同じで、天皇は君臨すれども統治せずの立憲君主国です。ですから最後は政府の決定に従わざるを得ず、開戦となったのです。このことをマツカ



ーサーは知っていました。

昭和20年8月15日によくやく終戦を迎えるのですが、

3月10日には東京大空襲があり、一晩で10万人近い方が亡くなりました。その後、広島、長崎に原爆が投下され、

ソ連が日ソ中立条約を破って満州に侵攻してきました。日本の敗北は決定的でした。しかし、政府首脳の間では

「本土決戦、一億玉砕」を前提として、もし降伏をすればならいりいな条件をつけて降伏をするべきだ」という意見が半分ありました。もう半分は「天皇の統治大権のみを条件として、後は無条件で降伏する」という意見

です。

昭和20年8月10日午前0時、昭和天皇親臨の下、御前

会議が開かれました。そこでは鈴木貫太郎首相、東郷重徳外相、阿南惟幾陸相、米内光政海相、梅津美治郎参謀

総長、豊田副武軍令部総長、平沼騏一郎枢密院議長の7



名が御前に座りました。この会議で、鈴木貫太郎首相を除いた6名の意見が3対3に分れました。「玉碎」か「和平」かです。議長鈴木首相は「議長の一票で決めるべきであるが、自分の一票で決めるにはあまりにも重すぎる。全く前例のないことであるけれども陛下の御聖断をいただくほかない」と、昭和天皇は「東郷外務大臣の意見に賛成である」と言われました。これは「無条件降伏」でポツダム宣言受諾ということでした。そして8月10日未明、すぐに連合国に対して「大日本帝国政府は無条件で、天皇の統治大権のみを条件としてポツダム宣言を受諾する」ということを打電しました。アメリカでは、日本降伏の日は8月10日で、この日が「対日戦勝記念日」となっているそうです。実はこの後、アメリカからの返答があり、政府内でもめることがあったのですが、また昭和天皇の二回目の御



聖断せいだんによって終戦しゅうせんが決まり、玉音放送ぎょくおんほうそうが8月15日がつにちに流れ  
たのです。

このような経緯けいゐをマッカーサーは知った上で、昭和天  
皇のうむかを迎えたのです。昭和天皇しやうわてんのうはシルクハットに燕尾服えんびふくで  
赴おもむかれましたが、マッカーサーは軍人の平服へいふくでした。お  
まけにマドロスパイプをくわえていたと言いいます。立場たちば  
の違いちがひを示したかったのでしょうか。

昭和天皇しやうわてんのうが非常に緊張きんちやうをされている様子ようすだったので、  
マッカーサーはそこで煙草たばこを勧めました。昭和天皇しやうわてんのうは煙  
草こを吸すわれなかったので、煙草たばこの扱いあつかいがわからず、ぽ  
ろっと煙草たばこを落とされたそうです。それを見ていたマツ  
カーサーは、ああ、このお方も命いのちが惜おしいのだな。『私わたし  
は戦争せんそうに反対はんたいだった』と弁明べんめいに来こられたんだ。戦争せんそう犯罪はんざい  
者しやとして起訴きそされないよう、自分の立場たちばを訴うたえに来こられ  
たのだがと思おもったそうです。



第一次世界大戦で、マッカーサーの父親が敗戦国・ドイツに進駐していた時のこと、ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世がやってきて「戦争は国民が勝手にやったことです。自分には何の責任もありません。したがって自分の命だけは助けてほしい」と言ってきたそうです。この後、結局ヴィルヘルム2世は、たくさんの財産を何両もの列車に詰め込み、それとともにオランダに亡命しました。その話をマッカーサーは父親から聞いていたので、日本の天皇も同じか? と思ったのです。しかし、昭和天皇はマッカーサーの意に反して、直立不動で次のように言われました。

「日本国天皇はこの私であります。戦争に関する一切の責任はこの私にあります。私の命においてすべてが行われました限り、日本にはただ一人の戦犯もおりません。絞首刑はもちろんのこと、いかなる極刑に処されても、



いつでも応じる覚悟でおります。しかしながら罪なき八千万の国民が、住むに家なく、着るに衣なく、食べるに食なき姿において、まさに深憂に耐えないものがあります。温かき閣下のご配慮を持ちまして、国民の衣食住の点のみにご高配を賜りますように」

そして、その後「恵んでほしいとは言いません。担保を用意してきました」と、菊の御紋の袱紗包みを開けられました。そこには皇室の全財産目録がありました。

天皇家の全財産を担保として差し出すから、これ日本国民に食べさせてほしい。自分の命はどうなってもよいという、ヴェルヘルム2世とは真逆のことをされたのです。余談ですが、その全財産は当時のお金で37億円です。当時の三井、三菱、住友という大財閥の資産がおよそ3億円から5億円だったことと比べると、天皇家の財産がどれだけ大きかったかがわかります。



昭和21年に「財産税法」ができ、この37億円のうち90パーセントが主に物納により税金として納められたそうです。

昭和天皇が言われたことに、マッカーサーは驚きました。『マッカーサー回想録』には大きな感動に揺さぶられたマッカーサーの言葉があります。

「死を伴う程の責任。それも私の知り尽くしている諸事実には照らして、明らかに天皇に帰すべきでない責任を引き受けようとする。この勇氣に満ちた態度に私は骨の髄まで揺り動かされた。私はその瞬間、私の眼前にいる天皇が個人の資格においても、日本における最高の紳士であることを感じ取ったのである。数千年の世界史の中で、民族は起こっては滅ぶということを繰り返してきた。しかしその中で、国民をかばって自分の命を捨てようという君子のあることを私は知らなかった」



マツカーサーはくわえていたマドロスパイプを机に置き、椅子から立ち上がり、昭和天皇に椅子をすすめ、自身は立ったまま「天皇とはこのようなものでありませんか！天皇とはこのようなものでありませんか！」と繰り返して申しつけてください」と言っていました。それに対して昭和天皇も立ち上がられ「私には何の望みもありません。重ねて国民の衣食住の点のみにご高配を賜りませうに」と言われたのです。この後、マツカーサーは昭和天皇を玄関まで丁重にお見送りしたそうです。

その後マツカーサーの命令により、アメリカ本国から大量の救援物資が何度も日本に運ばれました。

実は、アメリカもソ連も天皇陛下を戦犯の一位に挙げ、絞首刑にしようと思っていたのです。天皇制を無くするという考えがあったのです。ソ連は共産主義、アメリカ



は共和制の国で、自分達の国と同じにしてやろうという  
考えがあったのです。それにマッカーサーは反対しまし  
た。

終戦の年の11月、アメリカ政府がマッカーサーへ、天  
皇の戦争責任を調査するように要請しました。それに対  
してマッカーサーは「戦争責任を追及できる証拠は一切  
ない」と回答して、昭和天皇を守りました。ただ、GH  
Qは、天皇制を維持するのはよいが皇族が多すぎる〇と  
考えました。当時、天皇家以外に14の宮家がありました  
が、その中の3宮家（秩父宮・高松宮・三笠宮）だけが  
残りました。天皇陛下の弟君です。後の11宮家は、臣籍  
降下〇、つまり、国民になる〇ということになりました。  
異論はありましたが、最終的にGHQの考えを宮内官僚  
を中心に議論し決まりました。

重臣会議の席上、鈴木貫太郎首相が「今日、皇族の



方々が臣籍に下られることがやむを得ないことはわかったが、しかし、皇統が絶えることになったならどうであろうか」と言うと、加藤宮内次官が「もしそのような時が来たら、かつての皇族の中に、社会的に尊敬される人がおり、それを国民が認めるなら、その人が皇位に就いてはどうでしょうか。しかし、適任の方がおられなければ、それは天が皇室を不要と判断されたのでしょうか」と言ったそうです。

そして、11宮家の方々の集まりで加藤宮内次官が「万が一にも『皇位を継ぐべき時が来るかもしれない』との御自覚のもとで身をお慎みになっていただきたい」と、意見を述べたのです。実際に今、皇位継承権がある男性皇族は4方です。天皇陛下の弟君、皇太子殿下、秋篠宮殿下、悠仁殿下です。しかし将来的には悠仁殿下しかおられないのです。非常に厳しい状況になっています。



昭和22年10月18日、11宮家の方々が赤坂離宮に集まれ、昭和天皇とのお別れの晩餐会が催されました。その時、昭和天皇は次のように言われました。

「身分は変わるようになったけれども、自分は今までと全く同じ気持ちを持っている。どうか今後もいつでも会いに来てくれるように」

皇族方と旧11宮家の交流は、菊栄親睦会という会を通じて現在も続いていきます。

平成17年11月27日、黒田清子様のご結婚をお祝いするお茶会が皇居で開かれ、菊栄親睦会の会員である旧11宮家の方々が出席されたそうです。おそらく眞子様のご結婚の時にも旧宮家の方々が集まられることと思います。

終戦後、焼け出された日本国民を慰め、励ますため、昭和天皇は日本全国を御巡幸されました。1946年から



ら1954年まで9年間にわたり、47都道府県のうち米  
軍占領下にあった沖縄県以外はすべて巡られました。訪  
問地は1411カ所。当時はホテルも旅館もほとんど焼  
けていましたので、陛下は電車や車の中で寝泊まりされ、  
一週間も10日もお風呂にお入りにならず、各地を巡られ  
たこともあったそうです。この時、GHQの高官達は  
「一番の戦争責任者が目の前に来るんだ。天皇は国民に  
石のひともぶつけられるんじゃないか」と噂をしてい  
たそうです。ところが、結果は全く違いました。国民は  
みんな大喜びで昭和天皇を歓迎しました。昭和天皇が御  
巡幸されたことによって国民の士気が上がり、復興が急  
速に進んだのです。

食糧難の時でしたが、何か特別なものを昭和天皇には  
お出ししなければいけない、というのが日本国民の考え  
方です。そんな中、たまたま最初に出されたウナギを昭



和天皇が「おいしい。おいしい」と言って召し上がられたため、どこへ行っても初めのうちはウナギが出され、昭和天皇が少し困っておられたというほほえましいエピソードを聞いたことがあります。

昭和63年3月9日、昭和天皇が病床につかれると、全国の御平癒祈願所に約900万人が記帳に訪れました。四十数年前の御巡幸で昭和天皇に慰め、励まされた人々も少なくなかったことと思います。

昭和天皇は病床で「もう、だめか」と言われたそうです。医師達は、ご自分の命のことかと思いましたが、実は「沖縄訪問はもうだめか」と問われたのです。この沖縄に寄せられた昭和天皇の御心は、今上陛下によって平成5年に果たされました。

天皇陛下というすばらしい国家元首をいただいている日本国民は本当に幸せだと思います。



日蓮聖人の御命日法要、お会式が厳修されます。  
法音寺本山では、

十月十七日(火)、午後一時三十分より  
講日に併せて御報恩法要が営まれます。  
皆さまのご参詣をお待ちしております。

◆今月の山首上人さまご親修日程

|      |           |      |           |
|------|-----------|------|-----------|
| 福山支院 | 10月1日(日)  | 淡路支院 | 10月5日(木)  |
| 岡山支院 | 10月8日(日)  | 田川支院 | 10月14日(土) |
| 福岡支院 | 10月15日(日) |      |           |

# 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名

今月の講話日など

住所

電話番号

|        |                |                 |                 |
|--------|----------------|-----------------|-----------------|
| 大乘山泰明寺 | 5日・20日         | 名古屋市中村区名駅2-37-3 | ☎(052)581-20069 |
| 開基堂    | 10日            | 江南市寄木町天道18      | ☎(0587)53-5436  |
| 東京支院   | 1日・15日・22日     | 東京都練馬区谷原2-6-37  | ☎(03)3904-1251  |
| 山形布教所  | 10日            | 山形市長町2-4-6      | ☎(023)681-0770  |
| 静岡支院   | 2日・12日・21日     | 磐田市長崎4-7-13     | ☎(0538)32-6625  |
| 豊川支院   | 4日・20日         | 豊川市中野川町1-26-3   | ☎(0533)86-4704  |
| 安城支院   | 8日・18日・28日     | 安城市新田町小山31-25   | ☎(0566)76-2504  |
| 明川支院   | 11日・28日        | 豊田市明川町堂ノ脇1-2    | ☎(0566)72-7208  |
| 佐屋支院   | 4日・8日・22日      | 愛西市大井町浦田面296    | ☎(0567)32-1825  |
| 一宮支院   | 5日・15日・25日     | 一宮市大江1-7-4      | ☎(0586)72-7208  |
| 西春支院   | 2日・12日・22日     | 北名古屋市九之坪東ノ川20   | ☎(0568)22-5813  |
| 岐阜支院   | 4日・14日・18日・24日 | 岐阜市切通7-15-22    | ☎(058)245-2939  |
| 笠松布教所  | 12日            | 岐阜県羽島郡笠松町八幡町23  | ☎(058)388-2740  |
| 大垣支院   | 1日・11日・21日     | 大垣市宝和町5         | ☎(0584)78-4854  |
| 関支院    | 3日・13日・23日     | 関市西福野町2-15-11   | ☎(0575)22-0776  |
| 平賀支院   | 5日・15日・25日     | 関市市平賀2-13-2     | ☎(0575)23-3771  |
| 郡上八幡支院 | 8日・22日         | 郡上市八幡町小野7-21-3  | ☎(0575)65-3933  |
| 四日市支院  | 3日・13日・22日     | 四日市市赤堀2-4-7     | ☎(059)352-3633  |
| 上野支院   | 1日・11日・21日     | 伊賀市上野向島町3-4-75  | ☎(0595)21-0127  |

☎連絡は本山寺務局へ

|       |            |                   |                |
|-------|------------|-------------------|----------------|
| 京都支院  | 1日・9日・20日  | 京都市上京区北横町360      | ☎(075)231-3437 |
| 高槻支院  | 1日・15日     | 高槻市天神町1-9-2       | ☎(072)685-1003 |
| 大阪支院  | 8日・23日     | 大阪市此花区西九条3-4-41   | ☎(06)6465-5051 |
| 福井布教所 | 21日        | あわら市春宮3-28-2      | ☎(0776)73-5234 |
| 和泉支院  | 1日・14日・22日 | 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404   | ☎(0724)66-3112 |
| 神戸支院  | 14日・21日    | 神戸市兵庫区五宮19-17     | ☎(078)360-4884 |
| 淡路支院  | 5日・25日     | 南あわじ市神代国衙910      | ☎(0799)42-0175 |
| 岡山支院  | 8日・22日     | 岡山市南区若葉町1-16      | ☎(086)262-0818 |
| 高知布教所 | 9日         | 高知市上町5-5-39       | ☎(088)823-1983 |
| 福山支院  | 1日・15日     | 福山市西町3-19-5       | ☎(084)921-3078 |
| 三原支院  | 14日・22日    | 三原市皆実2-9-22       | ☎(0848)62-5087 |
| 安芸津支院 | 7日・15日・29日 | 東広島市安芸津町三津3765-3  | ☎(0846)45-4012 |
| 坂支院   | 15日        | 広島県安芸郡坂町坂東2-24-12 | ☎(082)885-1064 |
| 福岡支院  | 1日・12日・15日 | 福岡市早良区城西2-11-37   | ☎(092)821-7975 |
| 壱岐布教所 | 13日・23日    | 壱岐市石田町池田東触1112    | ☎(0920)44-5445 |
| 筑後布教所 | 8日・22日     | 筑後市大字西牟田5954-1    | ☎(0942)53-7273 |
| 天草布教所 | 2日         | 上天草市大矢野町維和1502-1  | ☎(0964)58-0742 |
| 田川支院  | 8日・14日・29日 | 田川市春日町7-30        | ☎(0947)42-1819 |
| 名古屋地区 | 7日・17日・27日 | 名古屋市昭和区駒方町3-3     | ☎(052)831-7135 |
| 瀬戸布教所 | 9日・19日・29日 | 瀬戸市東本町2-20        | ☎(0561)85-6860 |
| 亀岡布教所 | 9日・22日     | 亀岡市篠町篠牧田73-1      | ☎(0771)25-7807 |

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

特別企画

# 聖の教え

(二二)

家族〔親子・兄弟・夫婦〕

勤むれば富も得べし、む身を保ち

幸を迎えて家も栄えむ

御開山上人御詠

## ◆ 經 典

◆ 今此の幼童は皆是れ吾が子なり。愛するに偏黨なし。

妙法蓮華經・譬喩品 九六頁

◆ 我等愚癡にして誤って毒藥を服せり。願わくは救療せられて更に壽命を賜えと。父、子等らの苦惱することは是の如くなるを見て、諸の經方に依って好き薬艸の色・香・美味皆悉く具足せを求めて、搗篋和合して子に與えて服せしむ。而して是の言を作さく、此の大良薬は色・香・美味皆悉く具足せり。汝等服すべし。速かに苦惱を除いて復衆の患なげんと。

妙法蓮華經・如來壽量品 二七七頁

◇（淨藏・淨眼の）二子、空中より下りて其の母の所に到って、合掌して母に白さく、父の王、今已に信解して、阿耨多羅三藐三菩提の心を發すに堪任せり。我等父の爲に已に佛事を作しつ。願わくは母、彼の佛の所に於て、出家し修道せんことを聽されよ。

妙法蓮華經・妙莊嚴王本事品 三七五頁

◇世尊、此の我が二子已に佛事を作しつ、神通變化を以て、我が邪心を轉じて佛法の中に安住することを得、世尊を見たてまつることを得せしむ。此の二子は是れ我が善知識なり。宿世の善根を發起して、我を饒益せんと欲するを爲ての故に、我が家に來生せり。

妙法蓮華經・妙莊嚴王本事品 三七八頁

## ◆御書

◇我が頭は父母の頭、我が足は父母の足、我が十指は父母の十指、我が口は父母の口なり。譬えば種子と果子と、身と影との如し。

忘持經の事 一三六二頁

◇烏龍と云いし者は法華經を謗じて地獄に墮ちたりしかども、其の子に遺龍と云いし者、法華經を書きて供養せしかば親佛に成りぬ。又妙莊嚴王は惡王なりしかども、御子の淨藏・淨眼に

導かれて、娑羅樹王佛と成らせ給う。其の故は子の肉は母の肉、母の骨は子の骨なり。

光日上人御返事 一九六七頁

◇父母に御孝養の意あらん人人は法華經を贈り給うべし。教主釋尊の父母の御孝養に法華經を贈り給いて候。

刑部左衛門尉女房御返事 一九〇〇頁

◇父母の命に背いて無爲に入り、還つて父母を導くは孝の根本なること佛其の證據なるべし。彼の淨藏淨眼は父の妙莊嚴王外道の法に著して佛法に背き給いしかども、二人の太子は父の命に背きて雲雷音王佛の御弟子となり、終に父を導きて娑羅樹王佛と申す佛になし申されけるは不孝の人と云うべきか。經文には『恩を棄てて無爲に入るは眞實に恩を報ずる者』と説いて、今生の恩愛をば皆捨てて佛法の實の道に入る、是れ實に恩を知れる人なりと見えたり。

聖愚問答鈔・下 五八七頁

◇日蓮は日本第一の法華經の行者なり。既に勸持品の二十行の偈の文は日本國の中には日蓮一人讀めり。八十萬億那由陀の菩薩は口には宣べたれども、修行したる人一人もなし。かかる不思議の日蓮を生み出せる父母は日本國の一切衆生の中には大果報の人なり。父母となり其の子

となるも必ず宿習なり。若し日蓮・法華經・釋迦如來の御使ならば、父母豈其の故なからんや。例せば妙莊嚴王・淨徳夫人・淨藏・淨眼の如し。釋迦・多寶の二佛、日蓮が父母と變じ給うか。然らずば八十萬億の菩薩の生れ替り給うか。又上行菩薩等の四菩薩の中の垂迹か、不思議に覺え候。

寂日房御書 一七八六頁

◇子を思ふ金鳥は火の中に入りなき。子を思ひし貧女は恆河に沈みき。彼金鳥は今彌勒菩薩なり。彼の河に没みし女人は大梵天王と生れ給う。

光日上人御返事 一九六八頁

◇親によき物を與えんと思ひて、せめてやる事なくば一日に二三度笑みて向えとなり。

上野殿御消息 一三四六頁

◇凡そ一樹の陰に宿り一河の流を汲むことだにも、多生の縁とこそ云いぬるに、まして況んや親となり子となるをや。

十王讚歎鈔 七一頁

◇二の輪の車をたすけ、二の足の人を荷えるが如く、二の羽の飛ぶが如く、日月の一切衆生を助くるが如く、兄弟の御力にて親父を法華經に入れまいらせ給いぬる御計らい、偏に貴邊の

御身おんみにあり。

兵衛志殿御書 一五八三頁

◇案あんに違たがう事ことなく、親父しんぶより度度たびたびの御勘當ごかんどうを蒙ごむらせ給たまいしかども、兄弟きょうだいともに淨藏じよざう・淨眼じよげんの後ご身しんか。將又はたまたやくわう藥王やくじやう・藥上やくじやうの御計おんはらいかの故ゆえに、終ついに事ことゆえなく親父しんぶの御勘氣ごかんきを許ゆるさせ給たまいて、前まきに立たてまいらせし御孝養心ごきやうようしんに任まかさせ給たまいぬるは豈あに孝子きやうしにあらざや。定さだめて天てんよりも悦よろこびを與あたえ、法華經ほけきやう十羅刹じゆせつも御納受ごのうじゆあるべし。其その上うえ貴邊きへんの御事おんことは心こころの内に感かんじ思おもう事候ことせうこう。此この法門經ほうもんきやうの如ごとく弘ひろまり候せうらわば御悦おんえきび申もうすべし。穴賢あなかゝあなかゝ穴賢あなかゝあなかゝ。兄弟きやうだいの御中不和おんなかふわに渡わたらせ給たまうべからず、不和ふわに渡わたらせ給たまうべからず。

孝子御書 一七五〇頁

◇男をとこは柱はしらの如ごとし女をんなは桁なかわの如ごとし。男をとこは足あしの如ごとし女人にょにんは身みの如ごとし。男をとこは羽はねの如ごとし女をんなは身みの如ごとし。羽はねと身みと別別べつべつになりなば何なにを以もつてか飛とぶべき、柱はしら倒たおれなば桁なかわ地に落おちなん。

千日尼御返事 一八六八頁

◇矢やの走はしる事ことは弓ゆみの力ちから、雲くもの行ゆく事ことは龍りゆうの力ちから、夫をとこの仕業しわざは女をんなの力ちからなり。

富木尼御前御返事 一三五九頁

◇女人となる事は物に随つて物を随うる身なり。夫樂しくば妻も樂うべし。夫盗人ならば妻も盗人なるべし。これ偏に今生ばかりの事にはあらず、世生生に影と身と、華と葉と、根と葉との如くにて在するぞかし。木に棲む蟲は木を食む、水にある魚は水を啖う。芝枯るれば蘭泣く、松榮うれば柏悦ぶ。草木すらは是の如し。比翼と申す鳥は身は一にて頭二あり、二の口より入る物一身を養う。比目と申す魚は一目つつある故に一生が間離る事なし。夫と妻とは是の如し。

兄弟鈔 一一五〇頁

## ◆安立大法尼

家庭の平和を望むなら 人は、必ず家庭という集団をもって暮らさなければなりません。その家庭を平和に、しかも有意義に楽しく暮らすことは、人と生まれて最大の幸福であります。これに反して、不愉快なる、陰惨な家庭で一生を終わる人々は、誠に人生の大なる不幸と言わなければなりません。然らば、幸福の源泉である家庭の平和を希わるとは、如何にせば平和な家庭を作り得るでありませうか。これを考究し、実行して、一日も早くその成果を揚ぐべきが目下の重大問題ではありませんまいか。

この重大なる問題を解決すべきものは何でしょうか。物質でも科学でも、それはだめです。畢竟、宗教によって心の修養をしなければ、決してこの難問題を解決することはできません。

然らば、その宗教はと見れば種々雑多で、教義の優劣も定め難く、去就いずれかに迷う次第でありませんが、最もよく我々日本人に合致するものは仏教であります。而して、数ある經典中最も完全なる修養の鑑は、法華經であります。日蓮主義、即ち法華經主義の修養が、現代になわらる幾多の修養法中、最も適切なるものであるということが、ただいまようやく、我が国有識階級に於て重要視されてまいりました。

始祖・御法話集 五三頁

## ◆ 宗玄大徳

必ず家庭平和となる実作法 家庭の平和を實現すべき第一の要素は何でありますか。私はいく考えます。自分はこの世に何を目的として生を受けたかということなのです。

人として生まれ、一生涯心得なければならぬことは、人格を養い、これが完成を期することであると思ひます。ひいては、家庭平和にして日々樂しき日暮らしをすべきであります。しかるに、家庭の親子・兄弟・夫婦等が相互に自分の意見を主張して譲らず、相争うようでは、人格の向上も家庭の平和も得られず、却つて不幸の源を増すのであります。故に、かかる鬭争心を去りて、慈悲に仏智を利用し、お互いに相手の心を慰めいたわり、自己の住む所を修養の道場と心得て功徳を積まねばならぬのであります。

村上先生御法話集(二) 二三〇頁

## ◆御開山上人

柔伏にぼうぶくということ

私の父は、自分の子供の意見を用いることも、他人の意見を用いることも好

まない性質で、自分の思った通りにしか動かぬ人でした。私は、どうも意見があいませんでし

た。杉山先生は、法華経の教えを行なう者が、親の心に従うことができぬようではならぬと

おっしゃったのです。私は三日ぐらい考えましたが、決心して両親のいうことは二つ返事で聞

くことにしました。一年、二年とつづく間について「お前は日本中で私の意見を一番よく聞い

てくれるものだ」と申しました。そうして、「お前はよい先生から教えをうけた、私は法華経

を常に読み誦んじ、訓読して父親に読んで聞かせたものだ。お経を読むことはお前に負けない

と思つたが、法華経は毎日の暮らしに一夕応用する教えであることを知らなかった。本当に有

り難いことだ」と申して、よく私の話す法華経の話を聞いてくれました。

世の中で意見があわぬといつて困っている人には、相手にあわせるようにしたならば、必ず

相手は自分を信用し、自分の意見を聞いてくれる人になるという確信をもちました。

続・現代生活の指針 五四頁

真の報恩

私が杉山先生の弟子になり、生まれた家を捨てて出たその時には、父も母も反対を

致しましたが、親も救われ、兄弟も救われる教えのために思い切つて家を捨てて出たのであり

ます。しかし後あとになつて、父ちちも母ははも喜よろこんで教おしえを聞きいてくれました。そして父ちちは、「善よい師し匠じやうを得えたね。私わがしは法ほ華け経きやうを讀よむことは負まげないが、法ほ華け経きやうの意い味み、仏ぼんさまの心こころは解わからなかつた。少すこしでも仏ぼんさまのお心こころが解わかつて死しぬのはうれしいことだ。この家いえと邸やしきは法ほ華け経きやうを弘ひろめる寺てらにするように」と申もうしてくれました。

御開山上人御遺稿集 四九頁

### ◆日達上人

妙莊嚴王本事品のお話 妙莊嚴王には淨藏・淨眼という二人の優れた子どもがいます。その二人が力を合あわせて父王を教化きやうけします。

普通は親が子どもを教化きやうけしますが、ここでは逆さかです。それだけに話は簡単に進すすみません。父親はバラモンの信仰しんこうを持もっています。一言二言聞きいただけで、うん、そうか、とはいきません。その様子を見て母の淨徳夫人が、父王のために神変を現げんじて見みせなさい、と言いいます。神變とは神通力じんつうりきです。尋常じんじやうではないことをして見みせることです。

二人は虚空に飛とび上あがって歩あるいたり、体みだから水みづや火ひを出だしたり、見み上げるような大男おおおとこになつたかと思おもうと手ての平ひらに乗のるほど小さちいくなって見みせます。それを見て王は驚おどろき、どうしてそんなことができるのか、と尋たずねます。二人が、仏ぼんさまの教おしえを聞きいて実行じつこうしているから、と答こたえます。王は感心かんしんし、一しよ緒しよに仏ぼんさまの所ところに行いつてお話を聴きき、帰依きえいたします。

ふたり  
二人の王子は手品のよなことをしますが、私共に置き換えるなら、いつも聞いている慈悲  
まこと  
・至誠・堪忍を普通に実行することです。これがいつも自然にできたら立派な神変です。

親孝行もそのひとつです。一番の孝行は親を喜ばせることです。そのためにはまず、親の言  
うことを素直に聞き、従うことです。なかなかできにくいことですが、いつも素直にできたら  
神変です。

日蓮聖人は「女人となる事は物に随って物を随うる身なり」(兄弟鈔)と言われました。

「女人」は奥さんで、「物」とは、すべての物や人です。

奥さんがいつも主人に「ハイハイ」と随っていけば、肝心な時に奥さんが言うことは、素直  
に相手に通ります。反対に、普段から逆らってばかりいたら、いざという時、どんなにいい意  
見でも聞いてもらえませんが、普段の時はよくても、いざという肝心な時に自分の考えを通そう  
と思えば、常日頃から素直に随っておくことです。相手の心に通じやすいようになってい  
からです。少しのことでもすぐに腹を立てる人が怒らないようになれば、これは神変です。夫  
婦の間にも親子の間にも立派に通用いたします。

『月刊法音』第三三〇号 五頁

一番むつかしいのは「身近な家族」の教化 外へ行って関係のない人に話をするのは、いいこ  
とだけ言って帰ってくればいいのですが、身近な人というのは、こちらのいい所だけではなく

悪い所もみな知っておりませうから、なかなかうまくゆきません。

うちの主人に話を聞かせたいのですが、どうしたらいいでしょう。いくら言ってもなかなか聞いてくれませんが、と言われる方がいます。

身近な人を教化するには、言葉で、こうしなさい、ああしなさい。こうした方がいいですよ、という方法もありますが、それによって法を聞いてみようかという人は、言ってみれば法の因縁の深い人なのです。しかし浅い人になりますと、いくら口で進めてもなかなか聞こうという気にはならないものです。そういう場合はどうするかということですが、これはもうその人の実行によって、行ないによって相手を感化するより仕方がありません。

特にこの頃は理屈が達者な時代ですから、ああ言えばこう、というように、言葉だけでは理屈しか返ってまいりません。ですから、行いが一番肝心なのです。

たとえば、怒りっぽい人が全然怒らなくなり温和な人になれば、それを見た人は、どうしてそうなったのだらう、ということになります。そこで、こういう話を聞いて私も実行してまいります、と云えば、では私も聞こうか、ということになるのです。

実際にそういう方が信者さんの中にたくさんおられますが、このように行いで教化することが大切です。またそうでなければ、まわりの人を感化することはできません。

お釈迦さまは決してそんなことはありませんが、そういうことが提婆達多品から勸持品にか

けての「悪人成仏・女人成仏」の中にあるのだろうと思うわけです。

### 摩訶波闍波提比丘尼への授記

千人と俱に、座より而も起つて一心に合掌し、尊顔を瞻仰して目暫くも捨てず。時に世尊、憍曇弥に告げたまわく、何が故ぞ憂の色にして如来を視る。汝が心に將に我汝が名を説いて阿耨多羅三藐三菩提の記を授けずと謂うこと無し耶。憍曇弥、我先に総じて一切の声聞に皆已に授記すと説きき。今汝記を知らんと欲せば、将来の世に當に六万八千億の諸仏の法の中に於て大法師と為るべし。及び六千の学・無学の比丘尼も俱に法師と為らん。汝是の如く漸漸に菩薩の道を具して、當に作成することを得べし」(妙法蓮華經勸持品)

摩訶波闍波提比丘尼は憍曇弥というお方は、お釈迦さまの育ての親であります。実母・摩耶夫人は、お釈迦さまがお生まれになつて七日目に亡くなられましたので、浄飯王の後妻となられ、以後立派に、生みの親以上に、勝るとも劣らぬ深い愛情をそそいでと仏伝にあります。が、お育てになられた方でありませう。そしてお釈迦さまの成道後、女性としては一番最初のお弟子になられ、尼さん達のリーダーとして教団に大変力を尽くされました。

お釈迦さまの親というのですから相当なお年だったと思われませんが、この方は百二十歳の時、お釈迦さまのご入滅が万が一にも自分より先だとしても耐えられないということ、毘舍離国

という所で禅定に入られ、断食して亡くなられたと言われている。

お葬式はお釈迦さまと難陀・羅睺羅・阿難の四人の手で行なわれたと伝えられています。考えてみれば最も幸せな方ではないかと思えます。とにかくお釈迦さまにお葬式をして頂いたのはこの方だけですから…。

### 耶輸陀羅比丘尼への授記

「爾の時に羅睺羅の母耶輸陀羅比丘尼、是の念を作さく、世尊、授記の中に於て独我が名を説きたまわず。仏、耶輸陀羅に告げたまわく、汝来世百万億の諸法の法の中に於て、菩薩の行を修し大法師と為り漸く仏道を具して、善国の中に於て当に作仏することを得べし」(妙法蓮華經勸持品)

やはり、直接自分が名指しで言ってもらいたいわけです。それで納得して安心できるのです。この耶輸陀羅比丘尼という方は、お釈迦さまの太子時代の奥さまであります。そして羅睺羅のお母さんであります。その羅睺羅が出家する時のお話に、こんな話があります。

お釈迦さまは悟りを開かれてから諸国を教化してまわられたのですが、ご自分の生まれたお城にも行かれました。その時、この方が羅睺羅に、あの大沙門はあなたのお父さまですよ。さあ、お父さまの所へ行行って遺産をくださるようにお願いしなさい。お父さまは誰も見たことのないような素晴らしい宝を持っていらっしやいます。それをもらっていらっしやい、と言われる

のです。そこで羅喉羅がお釈迦さまのところに行き、お父さま、私に遺産をください、と言いますと、お釈迦さまはご自分たちの住んでいる林の中に連れて行かれまして、直ちに出家させられた、というのであります。

それが遺産であります。法の相続、法の遺産です。もっと言えば徳の遺産ということであり  
ます。

私共遺産と言いますと土地・建物・お金ということを考えます。こうしたものも必要かもし  
れませんが、しかしそれ以上に、徳の遺産を残しませんとだめです。いくらお金を残したとして  
も、それを二、三年で使ってしまった、みじめな生活をしている人もあります。子供に遺産を残  
してやるならば、それを持つだけの徳を残してやりませんと、つまりそれを持つに値しない人  
でありますと、かえって貰ったお金・家屋敷のために身を滅ぼしてしまうということになるの  
です。それを忘れておきますと、結局子供を不幸にしてしまいます。

それに最近では相続税もばかになりません。しかし、徳の遺産はいくら残しておいても税金は  
かかりませんから、どうか残すなら、税務署にも誰にも取られない、徳の遺産を残しておきた  
いものであります。

# ふいのはの記

## お数珠じゆずの話

「お寺やお墓にお参りに行く時に持っていくお数珠ってどんな意味があるの？」

「昔、お釈迦さまがご説法をされる時、さまざまな国の王さまが説法を聞きに出かけられたそうさ。ある国の王さまは戦争中のため、どうしても聞きに行けないということで、家来が王さまに代わって出かけ、お釈迦さまに相談したんだ。」

「私の国は戦争が絶えず、お米も取れず、流行病があり、大変困っています。どうしたらよいでしょう？」

すると、お釈迦さまは『仏・法・僧に帰依して、みんなで修行すれば、お互いの苦しみがなくなりますよ』とお答え



になったんだ」

「どういいう修行？」

もくげんじ

「お釈迦さまは『木樵子もくげんじの実を百八個系に刺して、道を歩いてる時も、何をする時でも、実を繰りながら心静かに南無仏、南無法、南無僧』と唱えなさい。たくさん唱えると、心が安らかになり、その功德によって国が安泰になり、五穀が実るようになります』とおっしゃった。家来が国に戻って報告すると、王さまはそれを実行したんだ。するとまもなく、その国から悪病は絶え、物が実るようになり、戦争がなくなって、みんながとても喜んだそうだ。その後、王さまはじめ家来みんなが、お釈迦さまに帰依して、仏法の修養をしたという話だ」

「それがお数珠の始まりなんだね」

「でもなぜ百八個なの？」

「百八というのは、人間の煩惱の数』と言われている。年末の除夜の鐘も百八回つくけど、あれも煩惱を取り払うた



めなんだ」

「大ききの違う珠もあるよ」

「普通の珠が百八個、ほかに小さい珠が四つある。これは四大天王（持国天王・広目天王・毘沙門天王・増長天王）を意味しているんだ。お上人さまがおっしゃるには四大天王とは、警視総監のような立場にある神さまだそうだ」

「大きい珠が二つあるけど…」

「それは日天子・月天子、つまりお日さまとお月さまだね」  
「房の方に五つずつ六カ所についているのは？」

「それは五番神呪・三十番神といって、法華経を守ってくださる諸天善神なんだ」

「最後に十個連なっている部分があるよ」

「それは十界を表しているんだ」

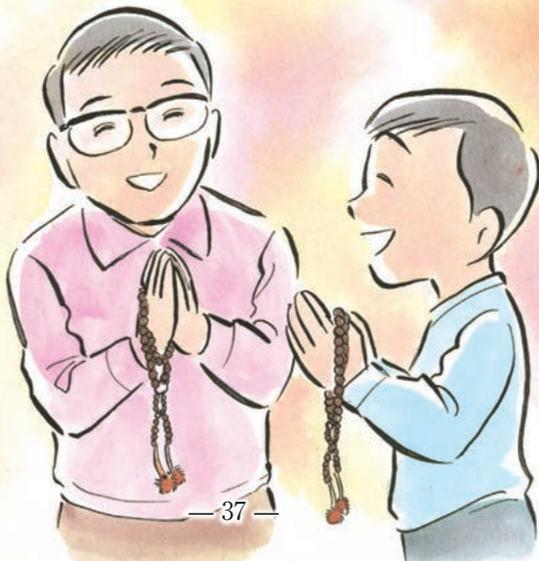
「十界って？」



「人間の心のすべての境地を十種（地獄界・餓鬼界・畜生界・修羅界・人間界・天上界・声聞界・縁覚界・菩薩界・仏界）に分類したものだ。この十個の珠は、お題目をたくさん唱える時に使う」とお上人さまはおっしゃっていたよ。つまり、ひと回りする度に一つずつ繰ると何百回唱えたかわかるだろう？」

「なるほど。お数珠にはいろいろな仏さま・神さまがいらっしゃって、僕達を守ってくださっているんだね。大切に扱わないといけないね」

「もともと、お数珠は煩惱を除滅するために作られたものですから、それを手にしてお題目をたくさん唱えると、自然と心が安らかになり、そればかりか、いい考えが浮かぶようになってきます。暇があってもなくても常に心掛け、ぜひ実行してください」（御開山上人述）



# 読者の声

## 行住坐臥のお題目

大里訓子（静岡支院）

祖母は娘の頃より、早朝から夜中まで、寝る間も惜しんで葛くず棧はたを織っていました。近所から「あの家の娘は、一体いつ寝ているんだ」と言われていたそうです。祖母の織った製品が皇居のふすまになり、60年近く棧織はたおりをしたことで掛川市より表彰していただき、大変喜んでいました。

祖母は私にいろいろなことを教えてくれました。「一度口に出した言葉は、拾い込みができません」「人の口には戸は立てられんぞ」「家の敷居は主人の頭と一緒に敷居を踏めば主人の頭を踏んだことになる」「口笛を吹くな」「人を待たせるな」等々、箸の持ち方から食事の姿勢まで、そしてご飯を残そうものなら「眼がつぶれる」と叱られ、ちゃぶ台に腰を降ろしたら「お尻が曲がるぞ」と怒られました。洗濯物は干し方までもこだわりました。

「物見遊山の旅行には行かん」と言っていた祖母ですが「日蓮聖人さまにゆかりのある場所へはお参りに行きたい」と佐渡島・誕生寺・清澄山、そして七面山へは何度も登り、毎年お正月の身延山への初参りは、とても楽しみにしていました。

子どもの頃より、そばに行くとき祖母は必ずお題目を唱えていました。私が静岡支院にお参りする

ようになり、聞かせていただいたご法話を伝えると真剣に聞いてくれました。アルマイトのお盆にお米一合の米題目が日課で、それは祖母の亡くなる前日までずっと続けました。精神面もとても強い祖母は「病気なんかを負けてたまるか」が口癖でしたので、寝込むことは一度もありませんでした。亡くなる前日も家族八人分の山のような洗濯物をたたんでくれ、血洗いもやってくれました。

祖母が亡くなった2月16日は、日蓮聖人さまの降誕会でした。朝、いつもと様子が違うので、叔父叔母が駆けつけました。それでも祖母は歩いてトイレに行き、そっと布団に入り、お題目を三回唱えて皆に看取られ、スッと息を引き取りました。「下の世話にはなりたくない」と言っていました。『大白牛車・5』の中で日達上人が「お題目が根本」というお話をされています。

「頭が良いからお題目を唱えるとか、悪いから唱えないとか、今不幸だからとか幸せだからとか、そういう今現在の状態とは関係なく、貧富も賢愚も、老若男女一切関係なく、とにかく行住坐臥、心の中でお題目を唱え、行いに移していくことが、何よりの根本であります」

私も祖母を見習い、毎日豆題目と写経を続けさせていただいています。

起きいでて清き気をすい題目を

となうる朝ぞこころうれしき

《御開山上人御詠》



# 福祉の ひろば

## ニコニコ子育て〜保育の現場から〜⑤

### 【3歳児の子育て】

皆さんはポップコーンを作ったことはありませんか？ポップコーン種をお鍋に入れ、火にかけてるとポーンポーンはじめてポップコーンができます。3歳児の子ども達を見ていると、そのポップコーンを連想することがあります。とにかく、ありとあらゆるものに興味があって、ピョンピョンとはじけているイメージです。何でもやりたい。やってみたい。この時期は、危険なことや汚れることが大好きですが、大きな心で見守って、存分に楽しませてあげてください。

3歳の頃になると、基本的な運動能力が伸びてきて、たいていのことは自分でできるようになります。指先も器用になり、お箸も少しずつ上手に使いこなせるよ

うになるでしょう。この頃の特徴として、「先を見通す力」がついてきます。朝起きたら、顔を洗って、朝ご飯を食べる、といったように、次はこれをして、こうなる、という、物事の順序がわかってきます。見通しが立てられるようになると自分なりの段取りで考えて行動するようになりますので、「先にこっち」と指図せずに、子どもの段取りを尊重してあげてください。

今までは一人遊びが中心でしたが、ほかの子とも遊ぶことも増えてきます。お母さんの様子をまねて、ままごと遊びや、男の子はヒーローごっこなどに夢中になります。一緒に遊んでいても「自分が一番」なので、ケンカになることもあります。ケンカをすることを「ダメ！」と叱るのではなく、何がいけないこと

なのかを伝えていくと、友達とふれあう中で、トラブルがだんだんと減り、イメージを共有して、ルールを守って遊べるようになってきます。「ごっこ遊び」を通して、人間関係や社会性、秩序を自然に学びます。

さて、指先も器用になり、ごっこ遊びも盛んになるころには、いろいろな物を頭にかぶったり、身体にまったりして楽しみますが、ビニール袋には十分に注意してください。かぶって窒息する可能性があります。また、夏の頃はプールや海で水遊びをする機会も増えますが、大人の手の届くところで遊ばせ、絶対に目を離さないでください。自立の始まる頃から、突飛な行動をとるようになります。子どもが成長し、親も少し気のゆるみが出るのでどうか、つい目を離すことがふえて、迷子や水の事故が増えてきます。

すでに保育園に通っているお子さんは別として、3〜4歳頃になると、ほとんどのお子さんが幼稚園や保育園、子ども園等に入園を検討されることでしょう。では、どんな園を選べばよいのでしょうか？

子どもが、友達と思いきり遊べる場所は成長にとって、とても必要な環境です。最近では地域で子どもが

交流できる機会が少ないのですが、子ども同士が関係を結び、集団生活の中で社会性やルールを知ることがとても重要です。そして、少し親の手から離れ、自分で考えて行動する経験も必要です。自然に無理なく友達と関係を結び、自分で考えて行動することが学べる集団生活は子どもの育ちにとって必要不可欠であり、人と人が関わり合い、自分の気持ちを相手に伝え、相手の気持ちを受け入れる、人間関係の基礎を養っていきます。

子ども達がのびのびと、個々のペースに合わせてゆったりと生活できる所が良いでしょう。笛の音で即座に整列ができるといったことが、見た目には賢く、ルールが守れると思いがちですが、そのようなことを重点的にしているよりも、子ども達が個性を発揮して、創意工夫して存分に遊べる環境が整った所が良いと思います。家庭ではできない五感を使ったさまざまな経験や、これから出会う友達、人間関係の中でさまざまな気持ちを抱くことで、心も体もたくましく成長していくことでしょう。

(Ｔ・Ｔ)

# 福祉に 生きる



社会福祉法人 昭徳会

児童養護  
施設

名古屋養育院・名古屋若松寮の実践

『日本の福祉を築いたお坊さん』に学ぶ。

鈴木修学先生が築き上げた福祉の

新たな未来を切り開くために…

修学先生の教えですべての人に幸福を

名古屋養育院 児童指導員 田端 誠一

私がまず感じたことは、他人のためにここまで自分の人生を使える人がいるんだ、という驚きだった。自分の欲求は少なからずあるはずなのに、それを完全に抑えて人を救うことは、並大抵の人ができることではないと思う。二十代の頃に菓子パンを製造して成功をおさめたにもかわらず、自分の現状には満足せず、ハンセン病の患者さん達を救ったり、育児院をつくったり、保育園、診療所を建てたり、戦災孤児を収容したりと、挙げたらキリがない程の多くのことを、宗教者として、社会事業者として、教育者としてなしたことは、決して真似できないことであり、本当に尊敬すべき人物だと感じた。

私も児童養護という分野で社会福祉に貢献していきたい  
と思った。

私は当初、教師になろうと思ひ大学へ行った。しかし、  
講義などで学習を進めていく中、「児童養護施設」とい  
う何らかの理由で養育が不可能になった子ども達を引き  
取る施設の存在を知った。それまでの私は、小学校の子  
ども達に勉強をわかりやすく、楽しく教えられる教師に  
なりたくと想っていたが、児童養護施設の存在を知った  
ことにより、あたりのまへのように受けられる授業をま  
ともに受けられず、食べるものも渡されない子ども達に  
あたりまえの環境で幸せになつてほしい、という想いに  
変わった。そんな時に昭徳会の存在を知った。基本理念  
である「幸福」という言葉に自分のやりたいことができ  
るのではないかと思ひ、昭徳会で働くことを希望させて  
いただいた。

この本を読まなければ、この昭徳会の基本理念にある  
背景や修学先生がどんな想いで昭徳会、大学などを建て  
たかは知ることはなかったと思う。昭徳会の基本理念、  
基本方針だけを知るのではなく、どういう考え、どうい  
った願いを込めてその方針が決められたかを知ることが

重要なのだと思う。それを知ること、私達がより深く  
昭徳会の基本理念、基本方針を理解するに至り、修学先  
生が望んだ昭徳会になつていくのだと私は思う。また、  
それができていることこそが、修学先生が遷化してもな  
お、昭徳会が拡大を続けている理由なのではないだろう  
か。これから昭徳会の職員として働いていく上で、修学  
先生の教えを忘れずに、すべての人が「幸福」になれる  
ような支援をしていきたいと思う。

## 一人ひとりと向き合うことを忘れずに

名古屋養育院 保育士 村上 真里奈

この本で私が感じたのは、時代によって福祉の需要は  
変化していくことです。例えば戦時中と現代では  
施設入所の理由も違いますし、支援・援助方法も異なり  
ます。戦時中であれば「戦災孤児」と呼ばれる子ども達  
が多くおり、その子ども達のケアが一番多くあったと思  
います。しかし、現代では戦争が日本では起きておらず、  
子ども達が抱えている問題も多様化してきていると思い  
ます。また、児童養護の分野に限らず、福祉に求められ

ているものも多様化してきているように感じます。その時々々の利用者や入居者に合わせた支援・援助が必要になってくるため、福祉は時代に合わせ変化していく柔軟性が必要であると改めて感じるようになりました。

また、人との出会いの中で人生が変化することの大きさ、影響の強さも感じました。人と人との出会いには何か意味があり、私が関わっている子ども達もきつと何かの縁があつて関わられていることを忘れずに、一人ひとりと向き合い、時間を大切に過ごしていきたいです。また、私自身の存在が子ども達に何かの影響を及ぼすこともあるということをお忘れず、子ども達の人生により良い影響を与えられるような人間になるため、努力を続けていきたいと思ひました。

次に、人にとつての「幸福」について感じたことがあります。人それぞれ「幸福だ」と感じる場面は違ふと思ひます。例えばご飯を食べている時、寝ている時、趣味で何かしている時等さまざまあると思ひます。それぞれの幸福を実現するには「一人ひとり」という言葉がとても大切だと感じました。本の中にも基本方針が書いてあります。基本方針の中には「一人ひとり」という言葉

が入っています。子ども達は皆同じではないため、しっかりと子ども達を見て勉強していきたいと思ひます。そして、それぞれの子どもにも合った声掛け等も今後勉強し、身につけていけるよう努力していきたいと思ひます。

最後に、この本を通してさまざまなことの大切さを学びました。改めて感じたことや学んだこと等、読んでいても勉強になりました。今後も人との出会いを大切にしながら日々を過ごしていくとともに、子ども達の目線にも立ちながら少しずつでも向き合つていけるようにしたいです。そして、子ども達一人ひとりに合った支援・援助をし、より良い影響を子ども達の人生に与えられるよう毎日を精一杯頑張つていきたいです。

### 思いやりを持って「幸せ」を作つていきたい

名古屋養育院 児童指導員 門野 孝

修学先生の人生をたどると、日本の福祉社会の歴史が見えてきて、世の中に福祉を築き上げた人であることが理解できました。また、修学先生は日本福祉大学の創立者であると同時に、社会福祉法人昭徳会の創立者でもある。

私自身、日本福祉大学で「福祉」を学び、そこで得た学びを昭徳会の名古屋養育院という現場で発揮できることをうれしく感じる。

この本を読み、学んだこと、感じたことがある。それは修学先生の「人の幸せ」のためにどこまでもひたむきに、そして前向きに取り組む姿勢である。修学先生は「社会福祉」という言葉が広くいきわたる前から、また、いろいろな制度が整備される前から、ハンセン病の患者、犯罪を行った少年、虐待を受けた子ども、戦災孤児、知的障がい児らの介護・養護・教育に取り組み、「社会福祉事業」の発展に一生を捧げた人である。誰かのために尽くす気持ちの大切さを理解することができた。

他者の幸せを考える時、思いやりが大事だと感じるのは、人は一人では生きていけず、知らないところで必ず誰かに支えられているからである。

思いやりの心を育むために、大切だと考えたことが3つある。まず一つ目に「相手の気持ちを考えること」である。人を思いやるには「相手がどのような気持ちか」を考える力、共感できる力が重要である。思いやりのある人というのは、相手の立場になって考えることができ、

自分のことよりもまず他者を心配しようとする。他者に手を差し伸べ、相手の手を取って気持ちを理解しようとする。こうした無私のやり取りに楽しみや満足感を見出すことが大切だと思う。

二つ目に「相手の様子の変化に気づくこと」である。他者に共感できる人は、まわりの人の感情を思いやって行動することができる。相手の些細な変化に気づき、何か相手に対して行動することが重要である。相手に対して気に掛けているという態度をとることが、関係を作っていくために必要だと感じる。

三つ目に「自分自身を大事にすること」である。自分のことを気に掛けない人間は、他人のことも気に掛けない。また、自分より他人の欲求を優先しすぎると、満足感はあるかもしれないが、自分が他者のために動けない状況に陥ったようなときにも、断りにくくなる。つまり、自分の心が満たされた状態で、相手のためになつて、自分のためにもなるという思いやりの形を作ることが大切であると考える。

困っている人が目の前にいても、何も思わない人は少ないと思う。そこで助けようと思ひ、行動する人が世の

中に増えていけば、「人の幸せ」は増えていく。私も思  
いやりを持って多くの人の「幸せ」を作っていきたい。

## 真心を込めて子ども達に接します

名古屋若松寮 保育士 滝川 蒼馬

私はこの本を読んで、自分が生きている意味について  
深く考えました。強い魂を持ち、幸せを日々考えること  
や人生の意味を求めることなど、それまでの自分には到  
底考えの及ばなかったことだと思います。

四月から社会人として児童養護施設で働くようになり、  
少しの期間が経ちましたが、今の自分はこの施設にと  
って必要なのだろうか」と時折考えることがありました。  
それは自分の不甲斐なさから来るものではなく、誰か  
から必要とされたい」という欲求だったのかもしれない  
から。落ちていくゴミを拾うこと、汚れが気になった所を  
掃除すること、「おはよう」「いってらっしゃい」など  
の声掛けを日々続けること、無視されても機会を見て話  
し掛けることなど、これらのことは「私が職員だからや  
っていることだ」と心のどこかで思っていた気がします。

この本では「困っている人々を助け、幸せにすること  
こそ幸せの種をまくこと」とあります。児童養護施設で  
暮らしている子にとって、施設は生活の場であり、職員  
が親代わりです。その職員が、職員だからやっているん  
だ」と思ったり口にしたりしてしまうことは、子どもに  
とっては大きな壁になってしまっていると感じました。自分か  
ら壁を作らないようにしていても、子ども達からしたら  
私は「この施設の新しい職員」です。どうしたら良いの  
か、どのようなやり方が良いのかを考え続ける日々でし  
たが、この本には「人間の心も気持ちを込めて耕作を続  
けることで、必ず善い人間になれる」と記されていて、  
この言葉に感銘を受けました。自分から子ども達に目を  
向け、たった一つでも、どんなに小さなことでも気づき、  
ほめてあげることで次につながるきっかけになると思ひ  
ました。そのためには子ども達の見本になる必要があります。  
修学先生のように、何かを人に教える時はまず身  
をもって自分が行うこと、このことこそ今の自分に必要  
なことだと思います。今までは職員として、子どもに  
やらせるための真心のない声掛けだったかもしれませんが、  
それではいけないと思います。子どもにも上から声を掛け

るのではなく、子どもにやらせるためには自分がお手本となりやってみせること、少しでも手伝ってあげて、できたらそれをほめることで子どもの意欲や自発性につながると思いました。

私は、自分がこの施設で働く意味はなんだろう、どうしてこの職を選んだのだろう、と考えていましたが、この本から、自分がしたいこと、していきたいことを考えるきっかけをもらいました。そして、それは小さな変化に気づき、声を掛けること、掃除でも遊びでもどんなことでも今の自分にできることを精一杯行うことです。

「苦勞をともし、真心を込めて接すれば必ず人の心を動かすことができる」という修学先生のお言葉を胸に、日々取り組んでいきたいと思います。今の自分には人生の意味を求めても答えは出せません。しかし、誰かを幸せにするにはどうしたら良いかを考え、実行することはできます。相手の幸せを一番に願ひ、関わっていくことで自分の人生の意味も見つかるような気がします。

## 『日本の福祉を築いたお坊さん』 日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語

星野貞一郎著・中央法規出版・新書版・160頁・800円(税別) 本書の著者印税のすべては「あしなが育英会」に寄付されています。

.....

### ●児童養護施設 名古屋養育院

●愛知県名古屋南区呼続4-26-37

●入所定員53名

●職員 正職員29名、パート職員9名

### ●児童養護施設 名古屋若松寮

●愛知県名古屋市名東区山香町321

●入所定員32名

●職員 正職員25名、パート職員2名

- 児童指導員(児童福祉分野) 児童福祉施設において、児童の生活指導を行う。次の任用資格が必要。①地方厚生局長の指定する児童福祉施設の職員を養成する学校その他の養成施設を卒業した者。②大学の学部で、心理学、教育学又は社会学を修め、学士と称することを得る者。③小学校、中学校、高等学校の教諭の資格を有する者。④高等学校を卒業した者であって、2年以上児童福祉事業に従事した者。⑤3年以上児童福祉事業に従事した者であって厚生労働大臣または都道府県知事が適当と認定した者。具体的な進路としては、4年制の福祉系大学を卒業するか、大学で、心理学、教育学、社会学を専攻し、児童指導員任用資格を取得することが一般的。
- 保育士(児童福祉分野) 児童福祉施設において児童の保育を行う者。保育士の資格が必要。
- .....

※本稿は平成29年7月にいただきました。(掲載順不同)

## なごやすくすくボランティア養成講座

親子を温かく見守り、地域で子育てを支援、児童虐待予防の支援者養成講座



写真提供・昭徳会

子ども家庭支援センターさくら  
～千種区、港区、中区、南区の4会場で開催～

「なごやすくすくボランティア養成講座」は、平成23年度から名古屋市の事業として始まり、平成25年度からは当センターで委託事業として実施してきました。名古屋市内の8カ所の区で養成講座を開催していますが、今年度前期は千種区、港区、中区、南区で実施しました。

『なごやすくすくボランティア』とは、親子を温かく見守り、地域で子育てを支援し、児童虐待の「予防」につながる人のことです。その役割は、地域において「子どもが安全に健やかに成長できる」「子どもを持つ親が安心して子育てができる」環境をつくるために、親子のところに寄り添い、優しく見守ることです。

講座では、「虐待の定義」「虐待が起きる背景」「虐待と思った時の対応の仕方」「親子への具体的な声掛けや援助方法」など、グループ

ワークを通して学びます。

グループワークの討議の中では、「声をかける際にどう動いたらよいかわからない」「勇気が出ない」「むずかしく考えてしまう」といった声が多く聞かれましたが、講座に参加したことで「身構えずに声をかけてみようと思った」「自分自身ができることから始めてみようと思った」と、前向きな考え方に変わっていく参加者が多くいました。その他には「虐待かもしれない」と思った時、支援者だけで悩むのではなく、公的窓口へつなぐことが必要だと知ることができて良かった」といった声が聞かれました。

近年では、核家族化や地域における人間関係の希薄化などにより、人とのつながりが少なくなっています。実際に育児困難感を抱えていて

も、親が自らSOSを発信することができず、地域から孤立し、虐待を引き起こす事例が増えています。こうした中、地域が親子を見守ることによって、問題が深刻化する前に適切な対応に結びつけることができ、さらに見守り活動が広がれば、親子の異変にも気づきやすく、「おかしいな」と思ったなら、すぐに声をかけることもできると思います。昔の「世話焼きおばちゃん・おじちゃん」を地域に増やしていくことが大切だと感じます。

今後も多くの方に見守り活動の意識を高めてもらうために、継続して「すくすくボランティア養成講座」を実施していきたいと思っています。

子ども家庭支援センターさくら（名古屋養育院内）

家庭支援専門相談員 水野真弓

## スカラシップ制度入学生特別講演会

—— 日本福祉大学社会福祉学部

日本福祉大学社会福祉学部長 小松理佐子

日本福祉大学社会福祉学部では、今年からスカラシップ入試制度（成績優秀者の選抜試験制度）で入学した学生への特別教育を始めました。

その第一回目の特別講演会に、学園長の鈴木正修先生に講師としておいでいただき、「学園創設者に学ぶ『ふくし』の精神」をテーマにご講演いただきました。

社会福祉学部は今年、創設60周年を迎えました。正修先生から、学部の原点に立ち返り、社会福祉を担う者の役割を考える機会をいただきました。私達社会福祉学部は、これからも創設者である鈴木修学先生のご遺志を受け継ぎ、弱い立場の方に寄り添うことのできる人材を育てていきたいと思えます。



## 鈴木修学先生の意志を受け継いで

加藤 幹也

鈴木修学先生の信念である「人権を尊重し、人をけなさないこと。人の良い所を見つけること。叱ったりしないこと。人をけなさないようにほめ言葉を使うこと」などは、知的障がいの子どもや高齢者の方々と関わる際に、心を開いてもらえるようにするために必要で、社会福祉に携わっていく者として大切にしていかなければならない信念だと思いました。また、修学先生は法華経の教えとして「慈悲・至誠・堪忍」の三徳を大切にされていたということでした。いずれも社会福祉の視点から見て、非常に大切な精神であると思います。社会福祉の偉大な先駆者である修学先生に少しでも近づくために、一つひとつの意味を理解した上で身につけ、将来、社会福祉の現場で働く際に生かせるように日々の生活を送っていきたいと思います。

資金難や周りの人々からの偏見、差別に屈することなく、ただ困っている人を助けたいのだという一心で、

さまざまな逆境を乗り越え、成功を収めた修学先生は、非常に意志が強い方だと感じました。私もそのような強さを見習い、「困っている人を助ける」という修学先生の意志を受け継いでいかなければならないと思いました。また、オーブンキャンパスなどで高校生や保護者の方々に大学の伝統や歴史について説明する際に、自分達がそれらを深く理解しておかなければなりません。資料を図書館で借りたり、よく知っている方にお話を聞いたりして、理解する努力をしていく必要があると感じました。

今回の講演で、修学先生のひたむきな努力の結果、日本福祉大学が設立されたことを知りました。私達はこのようにすばらしい学びの場が提供されていることを認識し、感謝の気持ちと、日本福祉大学の学生だという自覚を忘れずに持ち続けたいと思います。そして、今後も修学先生のように福祉に対してしっかりとした信念を持ち、将来の福祉を支える担い手になれるように、勉強やボランティア活動などに励んでいきたいと思えます。

## 「幸せの種まきをする」という想い

新井 宗太郎

鈴木正修先生のお話を伺い、まず初めに感じたことは、正修先生の寛大さです。私は、先生が日本福祉大学の学園長ということもあり、最初少し緊張をしていたのですが、先生はとても優しい口調で話し始めてくださり、落ち着いて拝聴することができました。また、先生との交流の時間をとっていただいた時に、私達一年生のスカラシップ生の話を一人ひとり丁寧に聞いてくださり、興味を持ったことに対して質問などをしてくださる姿が印象的でした。相手を思う気持ちに基づきたいと思えました。

また先生に実際にお話しいただいた内容では、日本福祉大学の創立者である鈴木修学先生の歩んでこられた人生の壮大さに感動するとともに、衝撃を受けました。私が特に興味を持ったのは、困っている人を助け、幸せにすることを「幸せの種まき」と表現されていたお話です。まだ日本に社会福祉という概念が少なかった

た時代に、修学先生は困っている人のことを自分のこととして受け止め、孤児や老人、災害被害などに対する慈善活動や救貧活動を行ってきました。特にハンセン病患者の方に対する活動では、自分の身を削ってまで患者の方を支援されていたという話に衝撃を受けました。私も、自分だけが幸せになるのではなく、周りの方々にも幸せの種を配れるようになります。現在の社会福祉の基礎を作られた修学先生の想いを、私達のような若い世代が受け継いでいかなくはならないと思えました。

私は将来、児童福祉の道に進み、多くの子ども達も明るい未来を作る活動をしたいと思っています。現在、社会福祉学部で学んでいる学生の将来めざす道や職業はさまざまですが、基礎となる「幸せの種まきをする」という想いは同じだと思います。修学先生の想いをしっかりと受け継ぎ、これからも学びや活動を続けていきたいです。

正修先生、今回は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。

## 「ほめて育てる」指導法

前田 謡乃

正修先生からさまざまなお話を聞かせていただき、改めて修学先生の懐の深さを実感しました。今回は、聞かせていただいたお話の中で、特に印象に残ったものを書かせていただきます。

それは、「ほめて育てる」指導法です。人の悪いところを見つけてしまうと、つい悪いところに目を向けがちになってしまいます。しかし修学先生は、たとえ悪いことをしてしまった子どもであっても決して体罰を加えはせず、むしろその子の良いところを見つけてほめてあげる、といった指導法をとっていました。また、向上箱（子ども達が互いに良いところを見つけて投書する箱）も子ども達にとってとても良い箱だと思えました。そのようにすることで、ほめられた方も喜びを感じることで、ほめた方も相手の長所を見つけたことでうれしい気持ちになれます。お互いの絆を深めたり、信頼を高めたりすることも、ほめることで

ぐっとしやすくなると思います。私も、叱られるよりほめられて伸びるタイプだと思っていますので、とてもすばらしい指導法だと思います。叱らずにほめるというのはとても大変なことですが、堪忍の心を大切に、家族や友人に実践していきたいと思いました。

そのほかにも正修先生から、修学先生の数々の偉業を教えていただきましたが、恥ずかしながら自分が修学先生の行ってきたことを、同じ境遇で同じようにできる自信が全くわきませんでした。しかし、正修先生は「何かをすることが大事なのではなく、『心』が大事なのだ」とおっしゃってくださいました。この言葉を支えに、修学先生のように明るく前向きな心を大切に、自分にできることをしていきたいと思えます。

## 差別のない社会をめざして

山崎 愛佳

今回、特別講演会という貴重な時間を作っていただき、ありがとうございます。修学先生が実際経験されたお話を拝聴し、とても勉強になりました。書籍『日

本の福祉を築いたお坊さん』では伝えきれない内容や、正修先生からお話を伺うことによって、本を読んだときと違う感じ方もしました。

ハンセン病患者の救済のお話は普段聞けない内容なので、とても勉強になりました。ハンセン病は手足や顔が変形する病気ということで恐れられ、戸籍から消されたり強制的に隔離されたりなど、人から差別されてきた病気だということが理解できました。人から差別を受けるということは、ハンセン病患者の人に共感する人が少ないということでもあり、当時はハンセン病患者の人に援助をすることがむずかしいということも実感しました。

正修先生のお話を伺い、私は人を差別してはいけなさと改めて思いました。差別をすることによって、安心して暮らせる人は少なくなると思います。差別をしてしまうと、その人に共感ができなくなると思います。そして、差別をする人が多くなると「ふくし」が成り立たないと思います。私は「ふくし」というのは、すべての人が安心して暮らせることだと思えます。誰も

が安心して暮らすためには、その人が困っていることを解決して快適に暮らせるよう援助することが必要です。困っている人を差別すると、こういう援助もできないと思います。また、ハンセン病の時にあったように、空気感染するというような誤った情報なども援助をする時に妨げになるので、困っている原因を明確にし、正しいことを教え、解決することが大事だと思いました。

今回の特別講演会という時間は、とても貴重な時間でした。私は日本福祉大学に入学する前は「ふくし」を漠然と考えていましたが、大学で講義を受けているうちに、その人が困っていることを解決するという考えになりました。特別講演会のお話でも、自分の「ふくし」に対する考えが広がりました。

## できることから実践

村田 香穂

今回、鈴木正修先生に講演をしていただいて、印象に残ったことが三つあります。一つは、修学先生が杉

山先生に出会う以前の二十歳頃に、事業に成功して貯めたお金を駅長室に持っていき、事故が起こらないよう「遮断機をつけてほしい」とお願いしにいったお話です。多くの人は、自分の事業が成功したら、大抵自分のこと、もしくは身近な家族のために使うと思います。私もそうすると思います。しかし、修学先生は多くの他人のためにお金を使いました。私は事前に『日本の福祉を築いたお坊さん』を読んだ時、自分を犠牲にしてまで人を助けるすごい人だと感じました。でもお話を聞きし、修学先生からしたら息をするようにあたりまえのことで、自分がやりたいからやっているだけなのかなと感じました。修学先生の「人のために何かをしよう、したい」という気持ちを見習わないといけないと思いました。

二つ目に印象に残ったお話は、自閉症の子には意味はわからないけれど、自分がほめられているのか、嫌なことを言われているのかが伝わっているということだと思います。私はサークルで知的障害の方々と交流していますが、直接関わるのは初めてなので、どのように接し

たらいいのかと思うことがたまにあります。今回は自閉症の子のお話でしたが、お話を伺い、嫌なことが伝わっているのなら、こつちが不安に接しているのも、もしかしたら伝わってしまったているのかなと感じました。不安になっておどおどとするより、まずその方に向き合って、良いことをしたらほめるということを実践してみようと思います。

三つ目に印象に残ったのは、お金が貯まってから開学するのではなく、開学すると決めた日に開学をしたため、当初トイレが足りなかったというお話です。この逸話からも、修学先生は、自分が宣言したことは絶対守る強い心の持ち主だと感じました。私にはないものなので、尊敬します。

今回講演をしていただき、改めて鈴木修学先生は私達がまねできない程すごい方だなと感じました。しかし、正修先生が心の持ちようが大切だとおっしゃったので、まず自分が実践できることから始めていこうと思います。とても貴重な体験でした。

幸せの種まき 一人が一人を

みんなで助け合い、

喜ばせ合いましたよ

誰もが「四苦八苦」の苦しみを持ったまま、  
思うようにならない世界を生きています。

大乗山 法音寺

## 編集後記

今月号の日本福祉大学関連コーナーでは、8月に社会福祉学部で行われた山首上人さまの特別講演に参加した学生さんの感想文を、写真とともに掲載いたしました。それぞれの感想文を読むと、山首上人さまのお話が学生さん達の心にしみ込んでいった様子があったかえます。同席された大学職員の方から後日伺ったことですが、講演後の質疑応答で一人の学生さんが質問をされたそうです。

「修学先生がなされたことはすごいことばかりで、自分達はとでもできそうにありませんが、どうしたらよいのでしょうか？」

これに対し、山首上人さまは次のように答えられたそうです。

「大袈裟に構えないで、心（福祉を志す）をもって、日常のことに取り組んでいったらいいのではないのでしょうか」

大学職員の方は、このお答えに「大変身にしみました」とおっしゃっていました。

菩薩行を実行し、困った人を助けることで本当の幸せに到達する。が、福祉と修養の寺である法音寺三徳の教え。偉大な先師の足跡に私達も怯んでしまいがちです。でも、山首上人さまのおっしゃる通りに、心をもって日常のことに取り組むことが大切ですね。法音寺の教えを信仰している人なら、この局面で、どう判断し行動するのか？というアンテナをもって生活したいものです。

山首上人さまのお人柄と法音寺の「福祉の精神」にふれ、学生さん達はきっと、「信念のある福祉人」に育っていくことでしょう。私達も学生さんに負けないように精進していきましょう。

# ぼんのう

竹中 淳







な  
なま  
怠けもの



よし わかった  
こんど  
今度のテストで  
マリちゃんよりも  
いい点とって  
なま  
怠けものじゃないってこと  
証明してやる!

この対決  
たいけつ  
うけてくれるよな



たいけつ?  
対決?  
いいわよ  
でも早く  
はやく  
それ終わらせ  
なさいよ  
ちつとも帰れない  
ぢやない



終わったよ  
せいぶん  
正解かどうかは  
わかんないけど  
とにかく答のらんは  
うめた:  
せんせい  
先生にみせてくる



職員室



ハイ  
これ  
もう  
教室の  
かまど  
戸締まり  
したから



あ  
ありがとう









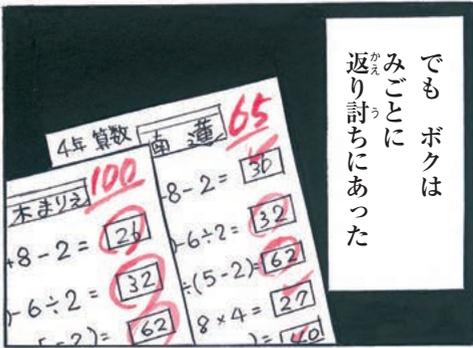
それは来  
アイツは現れる  
ことはなかった



そしてボクは  
対決の目に向け  
夢中で  
勉強した



う...  
来た...!



でも ボクは  
みごとに  
返り討ちにあった



なに...?  
恐ろしい...



放課後  
教室に残ってて  
逃げるんじゃないわよ



この対決  
望んだのは  
蓮くん!  
キミだよ

蓮くんの  
負けね

はい



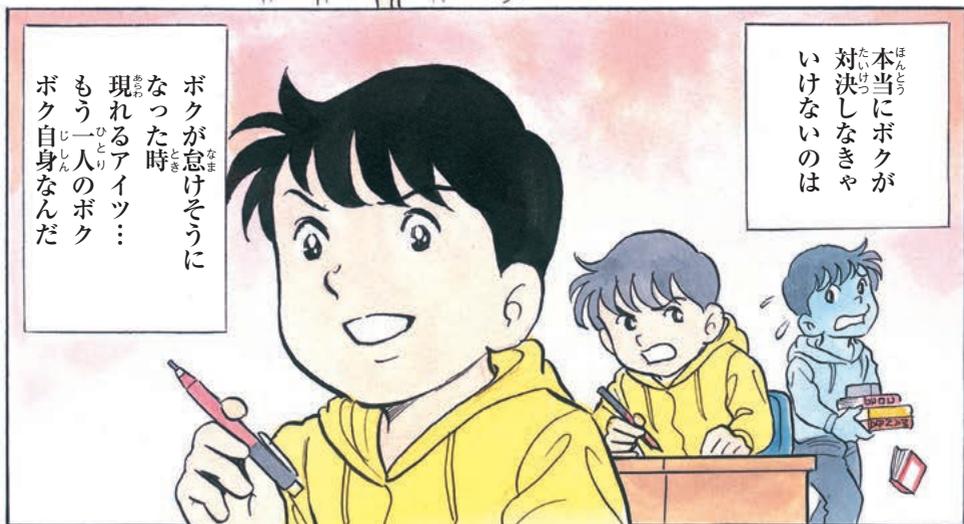
はい！

いい!!  
授業中のように  
いねむりなんかしたら  
承知しないわよ



そして  
ゲームやパズルを  
解くように  
答えをみつけ出すことの  
楽しさも教えてくれた

ところが  
マリちゃんは  
ボクがまちがえた所を  
わかりやすく  
説明してくれた



ボクが怠けそうに  
なった時  
現れるアイツ：  
もう一人のボク  
ボク自身なんだ

本当にボクが  
対決しなきゃ  
いけないのは

おしまい

# 法音寺関連書籍のご案内

## 青山書院刊

東京都杉並区西荻北5-4-1

### 妙法蓮華経略義 鈴木修学 著

A5版上製・863頁・定価6,000円（税込）

### 無量義経略義 鈴木修学 著

四六版上製・165頁・定価2,000円（税込）

### 仏説観普賢菩薩行法経略義

鈴木修学 著

四六版上製・165頁・定価2,000円（税込）

### 撰法華経略義 鈴木修学 著

A6版皮製・101頁・定価700円（税込）

### 仏教聖語の解説 鈴木修学 著

B6版・230頁・定価1,800円（税込）

### 道徳と宗教 鈴木修学 著

B6版・209頁・定価1,000円（税込）

### 教育まんが

B5判 平均64頁 定価各600円（税込）

八正道の話 因縁の話 菩薩行の話

功德の話 お彼岸のはなし 十界の話

十王の話 定価1,000円（税込）

— その他多数。お問い合わせください。

## 山喜房佛書林刊

東京都文京区本郷5-28-5

### 鈴木修学先生の南無妙法蓮華経

浅井圓道 著

四六版上製・202頁・定価1,600円（税別）

### 大乗山法音寺三徳開教百年史

(1) 安立大法尼の時代

A5版・490頁・定価4,000円（税別）

(2) 宗玄大徳の時代

A5版・516頁・定価4,000円（税別）

(3) 御開山上人の時代

A5版・628頁・定価6,000円（税別）

(4) 第二世日達上人の時代

A5版・714頁・定価7,000円（税別）

(別巻) 仏教感化救済会の信仰

A5版・272頁・定価3,000円（税別）

## 中央法規出版刊

東京都台東区台東3-29-1

### 福祉を築く —鈴木修学の信仰と福祉—

西山茂・秦安雄・宇治谷義雄 共著

A5版・224頁・定価3,200円（税別）

### 日本の福祉を築いたお坊さん

星野貞一郎 著

新書版・160頁・定価800円（税別）

※本書の著者印税のすべては、著者のご意志により

「あしなが育英会」に寄付されることになっております。

### まんが・法音寺物語

法音寺広報委員会 企画

上＝安立大法尼の時代

中＝宗玄大徳の時代

下＝御開山上人の時代

B5版・96頁総カラー・定価各巻1,000円（税別）

## 仏教タイムス社刊

東京都新宿区市谷町2-7

### 大乗山法音寺の信仰と福祉

西山茂・小野文瑠・清水海隆 共著

A5版・205頁・定価3,200円（税別）

### 凡夫を菩薩に転ずる僧伽

仏教タイムス編集部

A5版・132頁・定価800円（税込）

### 大乗山法音寺の源流と近現代仏教福祉

浜島典彦・清水海隆 共著

A5版・60頁・頒価500円（税込）

お問い合わせは法音寺事務局、又は各支院・  
布教所にどうぞ…



# 自説誓言

一人を導く功德は広大です  
是非一人は導きましょう

写真・法音寺大本堂  
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

## 日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135  
http://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日

毎月7日・17日・27日  
午後1時30分



### 法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

#### 社会福祉法人 昭徳会

■児童養護施設

駒方寮  
名古屋養育院  
名古屋若松寮

■障がい児入所施設

小原学園

■障がい者支援施設

小原寮  
泰山寮

■特別養護老人ホーム

安立荘  
高浜立庄  
小原安立

■障がい福祉サービス事業

授産所 高浜安立

■軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

ケアハウス 高浜安立

■軽費老人ホーム

ケアハウス 大阪安立

■養護老人ホーム

養護老人ホーム 高浜安立

■自立援助ホーム

慈泉寮

■保育所

駒方保育園  
光徳保育園  
天王保育園

法人本部 〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10 TEL(052)831-5171  
http://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

#### 学校法人 日本福祉大学

■日本福祉大学大学院

■日本福祉大学

■日本福祉大学中央福祉専門学校

■日本福祉大学附属高等学校

法人本部 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 TEL(0569)87-2211  
http://www.n-fukushi.ac.jp



法音・平成29年10月号・No.576・平成29年10月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社